

市民講演会

松阪市在宅医療講演会



穏やかな最期を迎えるために ～できてますか？最期を迎える心構え～



ながお かずひろ
講師 **長尾 和宏** 氏

医療法人社団裕和会 理事長・長尾クリニック 院長

香川県出身。東京医科大学卒業後、大阪大学第二内科勤務を経て平成7年、兵庫県尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合医療を目指す。「平穏死・10の条件」「薬のやめどき」「痛くない死に方」の他著書多数。

自分がどのように生きて、どのように終末期を迎えたいかそれぞれ考え方は違います。しかし、人は必ず年をとり、人生の最期を迎えます。住み慣れた場所で、安心して介護・医療ケアを受けながら人生の最期を迎えたいと考える人は多いのではないのでしょうか。そのために普段からかかりつけ医を持つことの大切さや在宅医療の在り方、看取りに対する家族や本人の思いなど、自分らしく生きるために自分、家族、地域ができることについて考えるきっかけとなる講演会です。

とき

令和元年 **8月3日（土）**
13:30～16:00（13:00開場）

**入場
無料**

ところ

農業屋コミュニティ文化センター
（松阪市川井町690番地）

定員

450名（先着順）
※ 手話通訳を行います

お問い合わせ

松阪市健康福祉部高齢者支援課
電話（0598）53-4099 FAX 26-4035

■ 主催／松阪市・松阪市地域包括ケア推進会議

※藍の縞模様は、伝統工芸品の「松阪本縞」柄です。